

# 問題の一本の『遊石城』

問題の二本曲豆  
御申上候愈々明日の開  
見事御當選被選事と確信  
要を以て其効空しからず  
御交渉申上候事と確信  
見るや貴兄には若松萩原  
の言のみを信じ却つて小  
生等の言動には反動的行  
仕り前以て御祝辭申上置  
候は偏へに貴下の平素  
を演じつゝ問題の  
の徳望の然らしむる處と  
ご本人体は野崎氏よ  
り比佐氏に送つた  
絶交狀であると寫  
眞銅版にして新聞  
の號外にまでした  
が文章判明せぬ處もつ  
たが此度野崎氏自ら印刷  
に付して發表した其全文  
左の如し。

拜啓春寒料峭之候念々勤  
健勝の段奉慶賀候倍今聞  
の政戰に就ては日夜連日  
の御奮闘懸御疲勞の事と  
御座候近年部會の暗流を

一  
の號外にまでした  
然るに本年改新に一回だ  
も御目に掛らず又電話だ  
も無之此政戰に留んでは  
何等か貴下より御交渉あ  
るべき事と存候處此又  
何等の通信にも接せず十  
年一日、如く物質的にも  
精神的にも一意貴兄の爲  
めには援助したる考へに  
は貴兄の其人を見るの明  
るに現在の結果を見る事  
は貴兄の其人を見るの明  
る時は若松萩原は其罪を  
他人に着せしむべく其小  
人たるや笑止千萬に不堪

**政黨の切實なる自覺と精進**  
**石城民政黨紛糾治療診斷**

政黨は國民を代表して立憲の大道を行ふを使命とす、我等大衆の代表たる上は常に民衆の正義的要要求を代表するを要し立憲の大道を行ふを使命とする上は國家の道義を尊重し世道人心の支持に心を致さねばならぬ立憲と云ふ語は本來、合理的合法的の意味であつて合理と云ふ時は即ち正義を意味し眞理を意味す、隨つて立憲政治と云ふ時は即ち道德政治の謂であるここ位は天下の公黨然も今を時めく民政黨の如何に地方の幹部とは云へながら此位はご存知あるべき筈であるのに政黨の使命と世道人心の關係は寸毫だに考慮理解せずにたゞ徒に感情を以て共鳴し然も眼目を常に自己の消長の上に置くものにすれば沙汰の限りである、故に若松、萩原或は比佐派又は



## 一部策士連の反省を求む

筆をなくよろしく力を發揮することなく  
私情を水に流すべきではないか本紙前號に  
批判投稿の一部を此處に掲載することとする  
のである。

石民政黨がいやしくも  
天下公議の一分子として乍  
落の兆を物語るものである

公平無私

賞ノ力ナリ仕事ヲ  
ノハニ勤ク人物ヲ選  
ガ有利ナリ。

は決死の手腕が必要である  
然るに國民を代表する代議士が紛糾に依つて面目を一新せんとするは餘り暢氣の沙汰であらう、この際民政黨将来のこと七五

候各地の演説會に反對黨の政策行動を批難するなりざ知らず同志を非難して投票を集め得らるゝや政戰終りを告げたるに付此言を呈し置候間宣敷御研究相成度候貴兄は遊説隊の頭領として夫れを痛快に感じ此れを抑止するの意志無かりしか忘恩不逞の徒は貴兄を初め貴兄の部下ならん貴兄にしつて萬一にも落選し路頭に迷はしむる事ありこせば貴兄を殺すものは萩原であるなんん貴兄には過去十年間の歴史考へ人を恨まず自己の不明を願みある事必要ならん漆畠先生安藤辯護士等は何の爲め

平氏に發送したる動機

◆

野崎 滉

當日

昭和五年二月廿日總務

に貴兄と袂を分つたのである落選をしたのであるが皆萩原の行動を快に感じ今回の舉に申合は沈思默考し給へ當場をしたなら貴兄より縦せらるゝ迄もなく小ぢり絶交し今後は貴兄の格を郡下に遊説し大いに反対の氣勢を擧げて次の總選舉の準備に着手すべく候甚だ亂筆を以て書を呈し置候。勿々

同氏が昭和五年二月中當  
郡三坂村方面に於ける衆  
議院選舉に關する演説會  
場に於て自から拙者の人  
身攻撃を爲したる一節に  
拙者を以て忘恩不逞の徒  
なりと侮辱讒諷し當選の  
曉には野崎滿藏とは斷然  
絶交する旨演述し且つ部  
下の應援辯士をして各地  
に於て前記同様の讒諷演  
説を爲さしめ特に湯本町  
に於ては應援辯士が其の  
爲め臨盤の警官に中止を  
命ぜられたる事さへ有之  
これを知り得たる拙者は  
昭和五年二月二十日投票  
終了の夜右讒諷の演説に  
憤慨し質言葉に質言葉と  
右の書狀を野崎氏が  
氏に發送せざる以前も特  
に御直披であるに  
書に御直披するもの  
之を萬人に公表する  
は比佐氏の人格上甚  
可解にして恐らくは  
氏を取巻く野心家の  
にはあるさるかと思  
らるゝものなり又右  
が單純なる絶交状な  
否やは識者を得つて  
判明することならん  
じ茲に書面内容全部記  
り

も	落の兆を物語るものである
許さ	公 平 無 私
舉	平町公園内
さ	高所ヨリ見子
さ	石城民政黨ノ紛糾ハ互ニ五
さ	分ノ理ハ有ツテモ比佐君ガ
惜	自分子分ノ争フ納ムル事ガ
惜	出来ストハ何事ナルヤ萩原
惜	君モ先ラ餘リ急ガズニ先輩
惜	ノ野崎君ヲ祭リ上ゲテ居テ
士	自分ニオハチノ廻ルノヲ待
士	テバカイロノ日和リトナル
士	先ラ急グ奴失敗ヲスル此ノ
士	紛糾ハ政友會ニ魚夫ノ利ヲ
士	得ラルカラ比佐君ハ少シ
士	ク考へラレヨ野崎モ餘リヤ
士	リ過ギルノ觀ガアルシ若松
士	ハ餘リニ無能デアル比佐ハ
家	家ノ子郎黨ニ對シ餘リ力ガ
ナ	ナサ過ギルト思フ此後ノ政
比	比佐氏も萩原氏野崎氏
佐	平町南町一七
の	菱井彌右衛門
の	比佐も野崎も言分はあ
の	らうが
川	三、民政黨としても地
川	二、區々たる問題にて
川	ミ合つて居つたので
川	事民を惑ふ事になる
川	事
け	問題として放任的態
け	甚だ損と思はれる
き	四、此場合小田吉治に
き	拂つた意氣を以て比
と	何も白紙で陸參の質
と	を受けたがよからう
と	第一
と	飯土井鶴
と	平大町
安	妥協が第一

## 農業經營

# 善改

的都好炭の年になつては、この中から右の十五萬圓を定利益を四十萬圓とするも、差引くと二十五萬圓の利益を生む。しかし與らぬことになるし、しかもこれは甘く見た計算で、あつて省用炭の減收ばかりでなく一般賣りの分も値下がりで、もとと利益は減るものと見ゆ。悟しなければならぬ者は、下期に三萬期の利益が二十萬圓に足らぬやうでは、償却にも足らぬものと見ゆ。金額であるかくて下期と上期と反対に近年にない不成績を示すことにならう。

來た殊に常磐炭山の貯炭一層減つたこれで炭價は虫の安値よりは頗る當り五錢から一圓方引返しを見て來た當社の前期の平均価値は其の前期よりも九十錢と云ふ暴落を告げたが期は期初十二月渡しの分取扱い契約の安値賣りのものが一月、二月、三月渡しの分は頗る悪いことになつてゐる見てゐるから手取りは五月の期末二箇月の鐵道への納入の分が値下げをされたのでこの二箇月の手當は頗る悪い全體として一月から三月迄の賣値はよかつた上に地方原價も多少低下したやうだかに多少低下したやうだかに期待出来る利益率は内外に當るから從前の利益を期待すれば三分の成績が急に悪くなるので配當は遅るまい最近の損失左の如し。

山腹を越す川の源流である。この川は、主に天竜川の支流である。



三年型の  
美人とは？

三一年型の美人とは？

どういふ女性が美人であるかこれは感情も加はりそれ見る目が人によつて勿論ふが大體現代に於ては居る美の定義など今更一致して來たやうである例へば眞を見て判断する所何れが美で何れが醜であるかの點が先づ一致して來て居る美の定義など今更開き直らずともよいと思ふ次に具備すべき要素は何であるか厳密に言へば健康と切り離す事の出來ない關係が事實はそうでなく身心の衰へて居るものゝ眼は同じ眼でも大變違つて居り頭髪の光澤にしてもやはり同様である俗に云ふ眼鼻だら云ふ顔の道具は健康如何に依つて大いに違ふのである。

○ 健康と密接な關係を持つ美人の要素は先づ第一に健康だと頭髪の色艶が良いが不健康新女性のは汚いのみならず頭の皮膚に病氣があつたり脱毛したり白髪があつたりする。

○ 第二是目である健康新女性の目は常に生々として明るく人をチャームする力を持つて居るが不健康な女の愛

第三は鼻である鼻は大して居るは鼻であるが口は齒と歯の交替の時期に構はずに不正なるものになり又歯ぐきがふくれ上つて紫色になりますから美しさを失ふ不完全な金冠や門歯などの仰々しく冠が美しさを破壊するこことについては更めていふまでもない。

○ 第五は咽喉である咽喉から首にかけて描き出す女性の美はまた格別であるが甲状腺(咽傍筋)の前にある腫脹の即ち甲状腺腫或はバセドウ氏病になつたのがどんなに醜いものであるかも申上げる必要があるまい。

○ 美人には又榮養といふものも離してしまふことが出来ない榮養食をどらぬ爲に血液が少くなり蒼白の皮膚を呈する所は極端に色の白いのを賞美した關係で蒼白は美人の要素の一つであるかの様に思つてゐたが今まで言はなくなつて來た。

○ 背骨は姿勢を保つかの質に頗る背骨は姿勢を保つ

「肺病多  
く言はぬ  
く色の白  
歐米人は  
ふのは頭  
トが良い  
人は頭髪  
まり騒が  
然し  
人種のア  
つて居る  
黄褐色人  
人程では  
イスの血  
じつて來  
であり色  
の血を多  
る云ふ  
白人種の  
が相當あ  
いのは骨  
が今は餘  
もので猫  
出産の時  
病其仙

皮膚の清潔は美に付きるもの  
であり衛生と健康はまた切  
離すことの出来ぬもので  
あると共に健 康と美との關  
係も極めて密接である。

<p>平四丁目（郵便局前通り）</p> <p><b>熱田歯科醫院</b></p> <p>院長 热田留</p>
<p>内科、小兒科 外科一般、婦人科 皮膚、梅毒、淋疾 平町田町本通り</p>
<p>市原 卵太郎 市原 陸郎 市原 三三男</p>
<p>(入院隨時) 電話一一四番</p>
<p>市原醫院</p>
<p>辯護士 山野邊義政 事務所</p>
<p>事務 轉 事務所</p>
<p>誠實迅速に民刑事件を取扱ふ</p>
<p>平町 才槌小路一十四番地</p>
<p>電話六七八六番</p>
<p>滋養豊富で</p>
<p>美味は百パーント 久保田のパンを ご販賣ください 平十五丁目(廿三夜尊堂前)</p>
<p>小賣專門 (常磐銀行支店側)</p>